

浦幌小学校(10月21日実施)



挨拶を兼ね、児童たちの作文への感想を述べる町長。



ご協力ありがとうございました。



皆さんから、たくさんのご意見をいただきました。

の手紙

幌に望むこと～

厚内小学校(11月1日実施)



給食も食べ終わり、懇談のスタートです。



美味しい給食に会話も弾みます。



厚内には、給食の時間にお邪魔しました。(全校児童と一緒に食べました。)



お疲れ様でした。大変素晴らしいご意見、ありがとうございました。



他の児童からもたくさん質問が出ました。



唯一の6年生。厚内小を代表して今後のまちづくりへの提言をしてもらいました。

上浦幌中央小学校(11月2日実施)



中央小ではミニ議会形式で開催しました。(子ども議員のみなさん。ちょっと緊張気味です。)



傍聴席のみなさん。



一人一人質問していきます。



時間内で収まらない程の再質問が出されました！



町長の答弁を聞いて、再質問の準備中…。



答弁願います。



→この写真は、3年生の児童が撮った写真です。

ミニ議会終了後、各クラスに分かれ、一緒に給食をいただきました。



「太陽への手紙」事業は町内の小学校6年生を対象に、まちづくりへの関心や理解を深める目的で実施しています。今年は3校から全47作品の応募があり、それぞれ夢のある視点で、将来の浦幌町に対する意見や提案を作文にいただきました。

昨年までは応募作品を審査し、受賞者を決め、受賞した児童と町長が懇談・会食する形式でしたが、今年から町長が各学校を訪問し、懇談する形式に変更しました。

懇談会では、身近なものから大きな規模のものまで様々なご意見、ご感想が寄せられました。共通しているのは、子どもたちのまちに対する深い思い。自然や環境を守りながら、活気ある町にしていくための多くのアイデアをいただきましたので、今後のまちづくりに活かしていきたいと思えます。

～ 子供たちの作文は作品集にして、各小学校と町立図書館に配布します。～

※ご協力いただきました6年生の皆さん、各小学校の先生方、本当にありがとうございました。